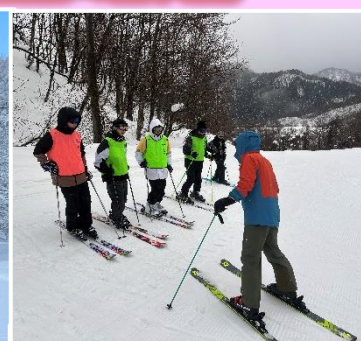


真校だより第130号 令和8年1月号

ふきのとう

神室スキー授業(3年生)～高校3年間のスキー授業の集大成～



3年生が、1/9(金)と1/16(金)の2日間にわたり、高校3年間のスキー授業の集大成となる神室スキー授業に臨みました。実施できるか不安な日々が続きましたが、日頃の行いが良かったからか、直前の数日間で十分な積雪に恵まれ、生徒たちは特に1日目にはまささなパウダースノーのゲレンデで気持ちよくスキーを楽しむことができました。3年間のスキー授業を通して、確かな技術と自信を身につけた3年生たちは、2日間を通して颯爽と滑っていました。仲間とともに最上の雄大な自然のなかで紡いだ楽しい思い出を、今後の生活の糧にして欲しいと思います。最後に、指導に当たってくださったインストラクターの先生方に感謝申し上げます。

3年生が取り組んだ特色ある授業実践についてご紹介します！



ベルギー人ミロさんとの翻訳機を通じた交流



地域おこし協力隊渡部さんによるデザイン講習

【ベルギー出身の国際交流員ミロさんとの交流(1/13)】

日本史探究と商業の横断的授業。ベルギーの公用語であるオランダ語や国の特徴などについて教えていただいた他、日本とベルギーの文化の違いなどについて翻訳機を駆使して楽しく交流させていただきました。

【渡部さんによる情報デザイン講習(1/14)】

商業(ネットワーク活用)の授業。真室川町地域おこし協力隊の渡部丈徳さんを講師にお迎えし、真室川町の魅力発信のためのリーフレット等のデザイン制作学習を実施しました。自主制作した絵本「まっ黒クジラと小さなトンボ」のキャラクターを模したケーキの静止画素材を使って手書きのPOPの技法を学びました。

【イマーシブ・エクササイズに挑戦!(1/21)】

体育と商業の横断的授業。SNS上で徐々に人気が出始めている「イマーシブ・エクササイズ」に挑戦しました。気軽に運動に取り組めるコンテンツに触れながら、生涯にわたって健やかな心身を維持しつつ、動画と音声や音楽を利活用し、健全な心身でビジネスネットワーク社会に関われるようになって欲しいものです。

【沖郷中学校3年生とのオンライン交流(1/23)】

商業(ネットワーク活用)の授業。地域の魅力を発信するために絵本を作成した両校生徒同士が、絵本に至る経緯や作成方法等について質疑応答しました。共に山形新聞に掲載されたことで得られたご縁でした。



イマーシブエクササイズ



沖郷中学校の生徒さんたちとのオンライン交流

1・2年ソーシャルスキル学習会～しごとトーク・若手従業員のリアルなおはなし～



1月16日（金）に、新庄・最上ジモト大学（最上総合支庁連携支援室）の協力を得て、地域の事業所等に勤務する若手職員の方々から仕事の内容ややりがい等についてお話いただく特別授業を実施しました。1・2年生の生徒たちが3つの縦割り班に分かれ、20分ずつ時間を区切って部屋を移動しながらそれぞれのお話を聴く形式です。講師を務めて下さったのは、アヒコファインテック株式会社の高橋翔さん、有限会社みちのく特産の佐藤友美さん、株式会社押切の渡辺健太郎さんの3名です。今回は3名とも真室川校の卒業生ではありませんでしたが、気さくにお話しいただいたからか、生徒たちもをリラックスしてお話を聴くことができたようで、積極的に質問して交流を深めていました。講師のみなさんには、「高校生のうちに挨拶や報告・連絡・相談をしっかりとる習慣と、失敗してもめげずにやり続けられる力を身につけよう」、「企業によっては複数の仕事を同時にこなさなければならないところもあると思うが、最初は大変でもそれがやりがいにつながることもある」、「地元に貢献したいと考え、職種にこだわらずに挑戦してみたら、とても楽しい仕事だった」といった参考になるメッセージを頂きました。生徒たちにとっては、将来の職業選択について考える良いきっかけになったことと思います。まだまだ自分が社会人として自立した姿を想像できずにいる生徒が多いと思いますが、このような機会を積み重ねながら、進路に対する意識を少しずつ高めていって欲しいと思います。

1・2年インターンシップ報告会

1月26日（月）に、2年生が1年生に向けて昨年7月に取り組んだインターンシップの成果を報告しました。2年生は、各自が事前に設定したためあて、実際に体験した業務の内容、各職場の方々にインタビューした内容、インターンシップを通して学んだこと等について簡潔にまとめ、資料を提示しながらしっかり発表してくれました。9名全員が、先輩として次年度にインターンシップに取り組む後輩の参考になるようにと懸命に準備したことが伝わる立派な発表で、成長が感じられました。



1年生も上級生の発表をメモを取りながら集中して聴き、疑問点について積極的に質問をして、理解を深めようとしていました。

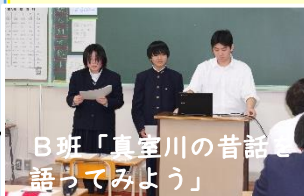
1・2年生ともに、自分の将来について考察を深める良い機会になったと思います。

1年地域探究発表会

1月28日（水）に、1年生が約8か月間かけて探究した成果を発表しました。「山の神」について探究したA班は、夏休みに町中をくまなく調査し、山の神の所在地とその写真を地図にまとめました。「昔話」について探究したB班は、「きづねむがす」という昔話を3人で分担して、実際に語って聞かせてくれました。C班は「伝承野菜」について探究し、多様な伝承野菜の調理方法を調べたうえで、実際にからどり芋の煮物づくりに挑戦しました。協力してくださった町民の皆様に感謝致します。



A班「山の神を探れ！」



B班「真室川の昔話を語ってみよう」



C班「伝承野菜のおいしい調理方法を探れ！」

ホワイトアスロン2026～地域の若者たちとともに冬を楽しみました～

1月24日（土）に、真室川町の地域行事「ホワイトアスロン2026」が開催されました。今年度は、真室川校を代表して、総合スポーツ部に所属する1年生の川又蓮君、栗田祐成君と顧問の佐藤優大先生がチームを編成し出場しました。開会式では、昨年度に引き続き町企画課様より任せていただいた選手宣誓の大役を立派にやり遂げました。競技については、2種目目の「鷹狩フライング」で栗田祐成君が見事に赤い旗をゲット。また、4種目目の「雪ムカデ」でも組で優勝するなど、初出場にしては上々の結果でした。表彰台には届かなかったものの、各競技で弾ける笑顔と躍動的な姿を見せて競技を盛り上げてくれました。年を追うごとに認知度が高まるホワイトアスロンですが、企画・運営に当たられたスタッフの方々のご尽力に感謝致します。

